



宮崎市立青島小学校 5年・6年

# 景観教室レポート



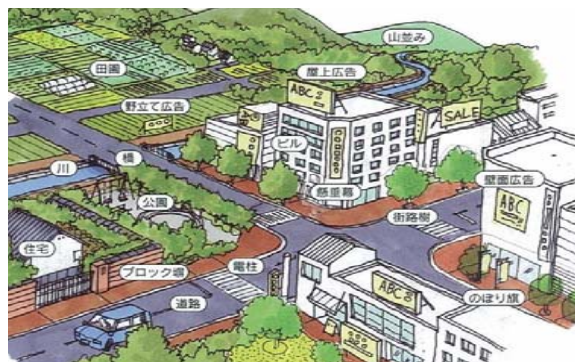
「景観（けいかん）」は、海、山、川などの自然、建物や道路など、私たちが目にするまちの姿です。まちの文化・歴史など、雰囲気伝えるもの、人の心に残る風景も景観といえます。青島小学校では、平成25年11・12月に、宮崎市景観課と(社)宮崎県建築士会の協力により、5年生(23名)と6年生(10名)を対象とした『景観教室』を、計3回おこないました。景観を学ぶことを通して、青島や宮崎市のまちについて知り、将来の青島の姿について考えました。

## 第1回「景観を知る」 11月5日(火) 2・3時間目

### ■ 景観に関する基本的な学習

前半は、「景観とはどういうもの?」という内容として、建築士会川添さんより、景観に関する基礎的な授業が行われました。

自然や建物など、様々な景観の写真をしながら、景観の考え方などについて学びました。



まちにはどのようなものがある?



自然・道路(ワシントンパーク)



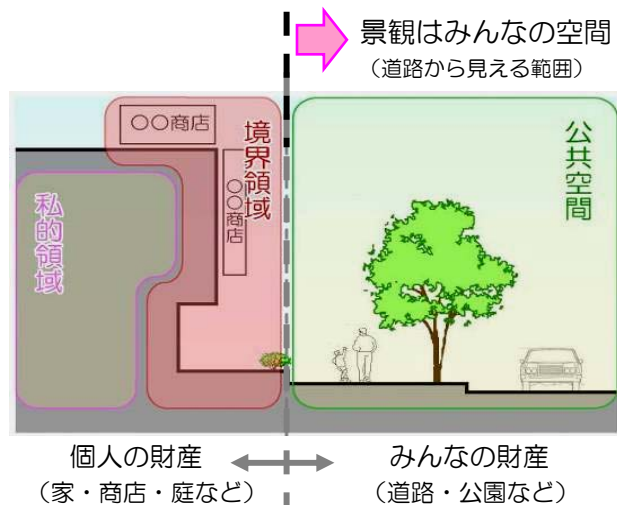
建築物(宮崎県庁本館)



産業(田野町にある大根やぐら)



歴史(高岡町にある武家門)

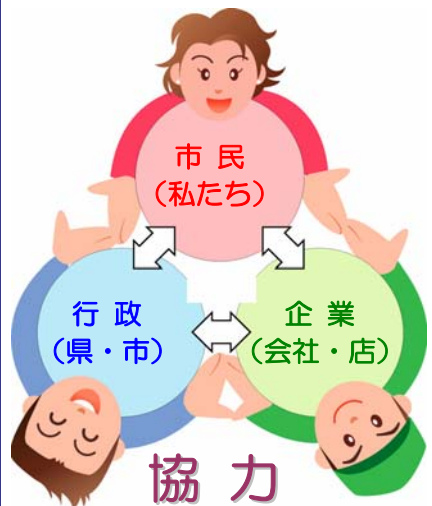


景観はみんなの空間  
(道路から見える範囲)

個人の財産(家・商店・庭など) ↔ みんなの財産(道路・公園など)

### ☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史・・・
- ②景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



授業をしていただく建築士の川添さん



景観クイズでみんな元気に答えています。

### ■ マインドマップづくり

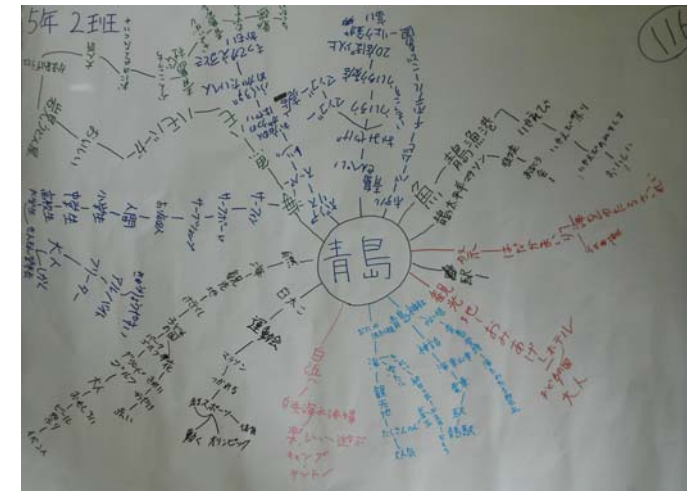
後半は、「マインドマップ(連想図)」づくりです。心(マインド)の中で思っている言葉を地図(マップ)のように自由に書いて、イメージをふくらませるものです。5年生は『青島』、6年生は『宮崎』をテーマとして、各班100~200個程度の言葉を書き出し、この中から「青島の景観」、「宮崎の景観」でイメージされる最も印象的な言葉を各班1個ずつ選び、発表しました。



「青島」、「宮崎」をイメージする言葉を書き出しています。



班ごとの発表。最も印象的な景観について発表しました。



出来上がったマインドマップ  
「青島」をイメージする言葉でいっぱいです。

★マインドマップ(連想図)を通して、「青島」「宮崎」をイメージするきっかけとなりました。

「青島」といえば・・・海、サーフィン、鬼のせんたく板、青島神社、醤油屋さん、亜熱帯植物園・・・  
「宮崎」といえば・・・海、フェニックス、南国、県庁、マンゴー、地鶏、チキン南蛮・・・

## 第2回「景観を調べる」 11月13日(水) 1・2・3時間目

### ☆☆「青島の景観」まち歩き探検 ☆☆

景観教室、第2回目はまち歩きです。

いつも見慣れている小学校周辺や海沿いのまちなみ、青島参道などを観察し、印象的な景観や心に残る景観を探します。

突浪川や漁港など海沿いを歩くルート、青島小学校や青島駅周辺の路地を歩くルートの2つに分かれて、青島海水浴場にある「渚の交番」まで歩きました。「渚の交番」では、まち歩きで気づいたことを話しあいました。

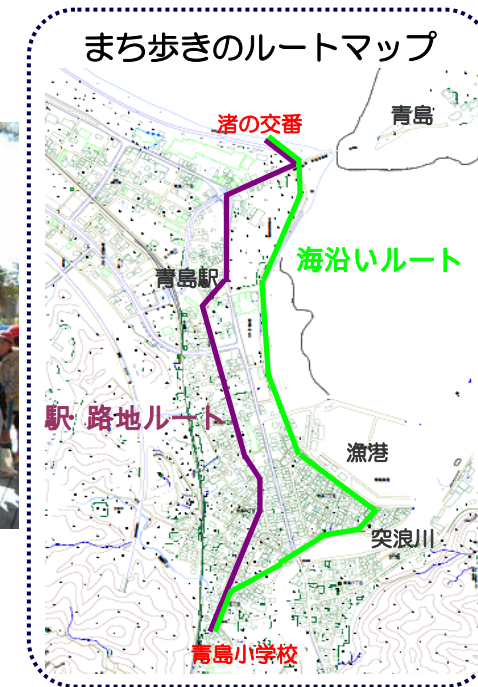
建築士の皆さんのアドバイスにより、気づかなかった新しい発見がたくさんあり、青島のまちなみの特徴も知ることができました。



(写真右上) 渚の交番に集合した様子。

(写真左上) 青島参道の商店街を歩きます。

(写真左下) ゆったりと流れる突浪川を眺めます。



まち歩きのルートマップ

★まち歩きで見つけた景観・・・



軽便鉄道の橋の跡 貝殻で彩った青島保育所の看板 鶴戸神社往還の札 交差点の恵比寿神社



歴史を感じる石垣 青島と弥生橋 青島神社参道のトウクトウク 漁港の風景

★まちあるきのまとめ

青島小近辺や青島駅周辺の路地や海沿いを歩いて感じた景観について、良いところ、気になるところを書き出してまとめました。模造紙にまとめ、班ごとに発表。普段見慣れた風景でも、見所いっぱいなことに気づきました。



まとめの様子(写真上、写真右) 地図を見ながら歩いたルートを確認、青島の見所、気になるところをまとめました。



発表の様子(写真左) 班ごとにまとめた気づきを発表。青島の良い所を表す「赤い付箋」が多いですね。



みんな上手にまとめました！  
気づいた点：神社や祠(ほこら)が多い・海に反射した光がきれい・亜熱帯の植物が多い・庭や道路に花が植えられていてきれい！



●「渚の交番」設計のお話(川添さんより)●



景観教室講師の川添さんは、「渚の交番」の設計者です。青島の海の雰囲気イメージした建物、景観を意識した設計としたことなど、お話いただきました。みんな真剣に聞いていましたね。

● 修学旅行先(鹿児島)の景観 ●

6年生は、11月10日・11日、修学旅行として鹿児島に行きました。宮崎とは違う景観を観察しました。



鹿児島のシンボル桜島 路面電車と芝生 西郷隆盛銅像 桜島フェリー 桜島を背景に記念撮影

第3回「青島の未来を描く」12月3日(火)2・3時間目

■ 修学旅行先の景観を発表

いよいよ景観教室最後の授業です。6年生が鹿児島で見てきた景観をおさらいしながら、気づいた点や感想を発表しました。

★修学旅行先で気付いたこと

- ・路面電車がある。線路には芝生が生えてきれいだった。
- ・鹿児島のまちは南国の雰囲気と歴史を大切にしている。
- ・桜島には水無川と火山灰のような色のコンビニがあった。
- ・フェリー(海)から、鹿児島のまちはよく見えた。
- ・城山には砲弾の痕があった。
- ・西郷隆盛、大久保利通の銅像がかっこよかった。



発表の様子

鹿児島の景観の特徴をまとめました。

■ 青島の未来を描こう！

2回目の街歩きの際に整理した「青島の良いところ、気になるところ」を、みんなで見直して、未来の青島をイメージし、話し合いながら、考えてみました。

「空と海を見られる観覧車」「緑あふれる街並み」など、自由にアイデアを出し合い、模造紙にまとめ、班ごとに発表。未来の青島を考えることにより、青島がさらに好きになったようです。



最後はみんなで記念撮影



『歴史を残しながらも 新しい青島!』



『観光客に楽しんでもらえる青島』  
空と海をみられる観覧車が素敵ですね。

景観教室を終えて

青島は宮崎の代表的な景観ですが、世界遺産がそうであるように青島だけではなく、その周辺環境も整っていないと、その魅力は半減してしまいます。

今回の授業では青島の未来を自由に描いてもらいました。緑にあふれる街並みや空と海を見られる観覧車など、とても楽しいアイデアをだしてもらいました。景観はそこに住む人々のためのもので、そこに住む人々が皆で考えて話し合っ作ることが大切だと思います。みんなが大人になって青島の景観を良い方向へと導いていくことを期待しています。

景観とはとても扱いにくいものだと思います。単純に基準を決めて良い悪いと判断できるものではなく、見る人の好みもあれば、同じものでも、まわりの状況によっては良かったり悪かったりします。また景観は日常的に目にしているものなので、自然と意識しないものになってしまいます。だから、見聞を広め、時には違った目線で身の回りの風景を見つめてみよう。良い景観は、意外とそこらにあるものです。

(社)宮崎県建築士会 川添 英司

★景観教室…皆さんの感想(一部を紹介します)

- ・景観で町の様子が変わるので青島の山や海などの景観を守っていききたいと思います。
- ・景観は人がつくった物と自然がつくった物があります。植物が生えることできれいになります。景観を大切にしようと思います。
- ・青島の景観をもっときれいにするには、ごみのポイ捨てをやめるといいと思います。未来の青島をもっときれいにしたいです。
- ・青島の海がとてもきれいで、人がたくさんいたことが嬉しかったです。まだたくさんの青島の景観を見たいと思います。
- ・景観はまわりの環境にあっていないといけないという事を分かったし、景観について知らなかったのが、良かったです。
- ・この景観教室を通して「青島の良さ」に詳しくなりました。
- ・青島は海がきれいな観光地です。もっと良い観光地にするには、自然をふやしたほうがいいと思います。
- ・先生から教えてもらった「自分たちの住んでいる所は、自分たちでより良い町にしていくなだよ。」という言葉が印象的でした。